

# 2015年度[2016年3月期] 決算説明会 ～ 決算の概況および新中期経営計画案～

2016年5月16日

住友ベークライト株式会社

代表取締役社長

林 茂

**2015年度[2016年3月期]決算**

**および**

**2016年度[2017年3月期]業績予想**

# 2015年度[2016年3月期]業績

[金額単位：億円]

	2014年度 [’15年3月期]①	2015年度 [’16年3月期]②	前期比較	
			金額 [② - ①]	増減率 %
売上高	2,097	2,070	-27	-1.3
営業利益	109	102	-7	-6.1
退職年金数理計算差異	4	-20	-23	*****
実質の営業利益	105	122	17	15.8
経常利益	113	106	-7	-5.9
退職年金数理計算差異	4	-20	-23	*****
実質の経常利益	109	125	17	15.3
当期純利益	71	38	-33	-46.2
退職年金数理計算差異	3	-14	-16	*****
実質の純利益	69	52	-17	-24.5

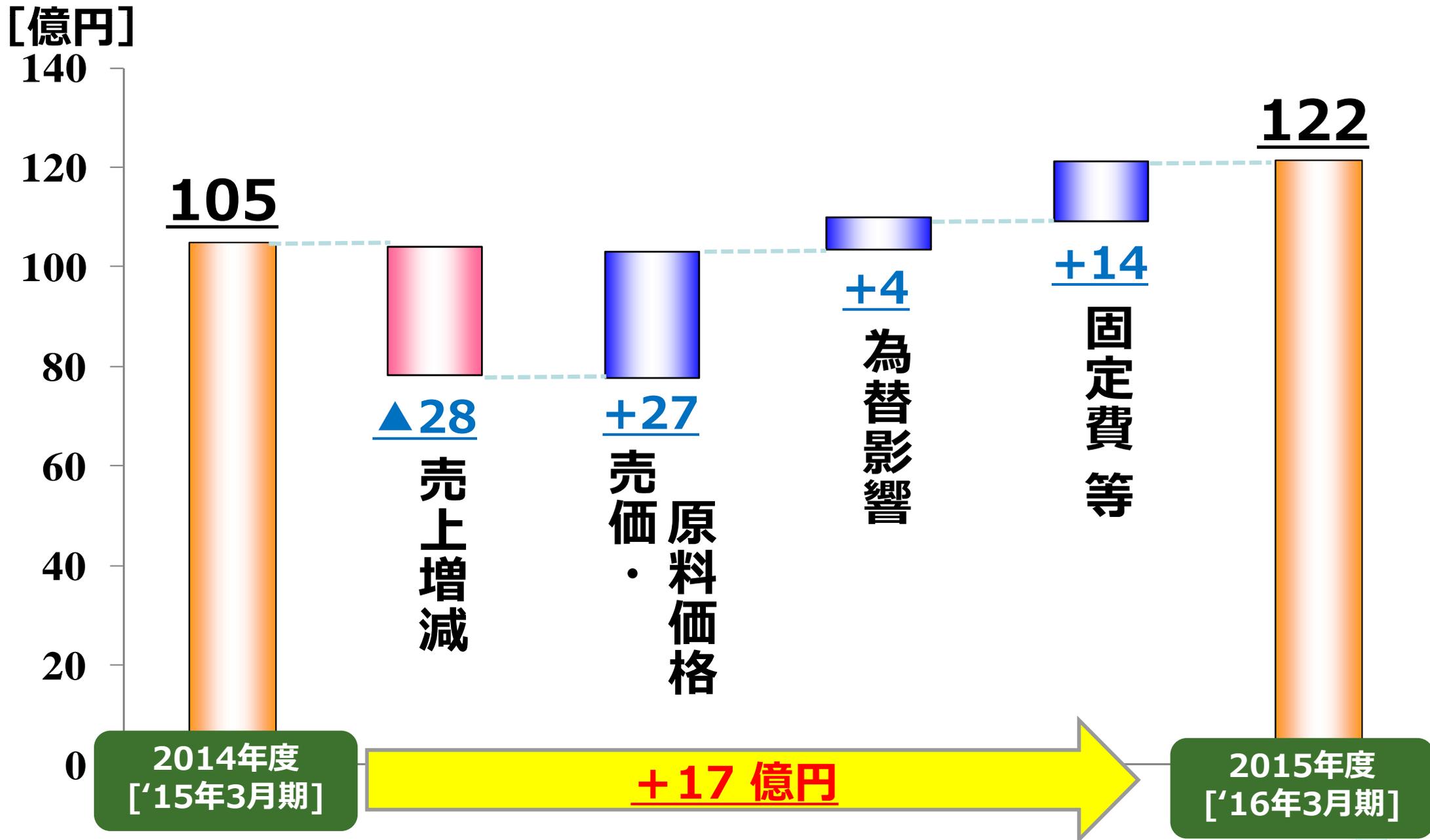
※ 純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

## ■ 特別損益 (億円) :

2014年度 = 固定資産売却益 + 14, 固定資産除却損 (-) 5, 事業再建費用 (-) 3

2015年度 = 事業再建費用 (-) 40, 減損損失 (-) 18, 有価証券売却益 + 12

# 営業利益増減要因・前年同期比(実質)



※ 退職年金数理計算差異による影響を除く。

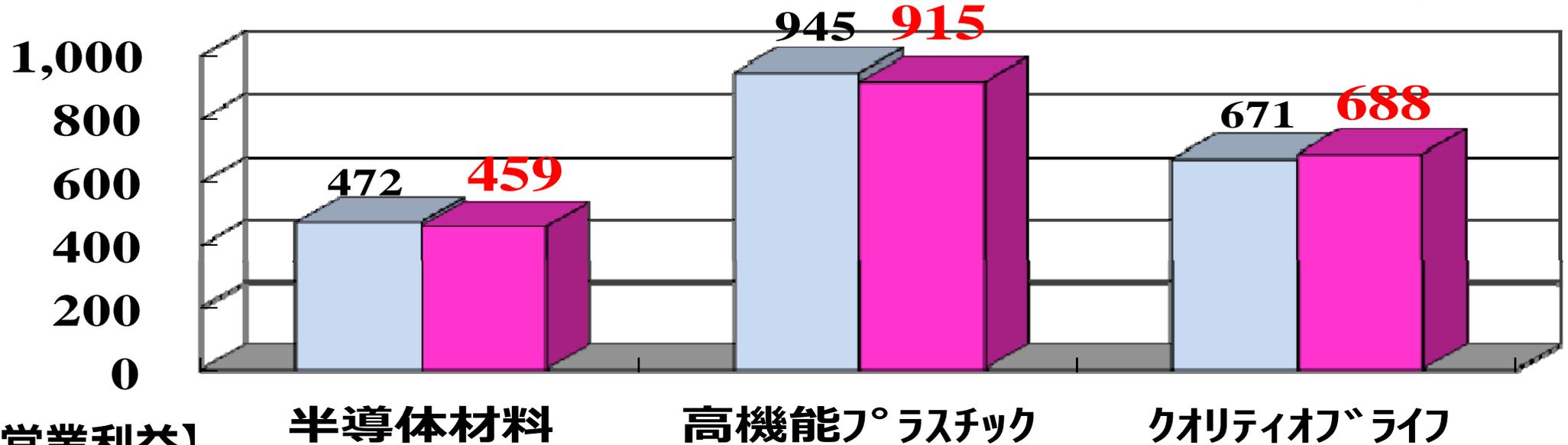
# 事業セグメント別業績比較（実質）

【売上高】

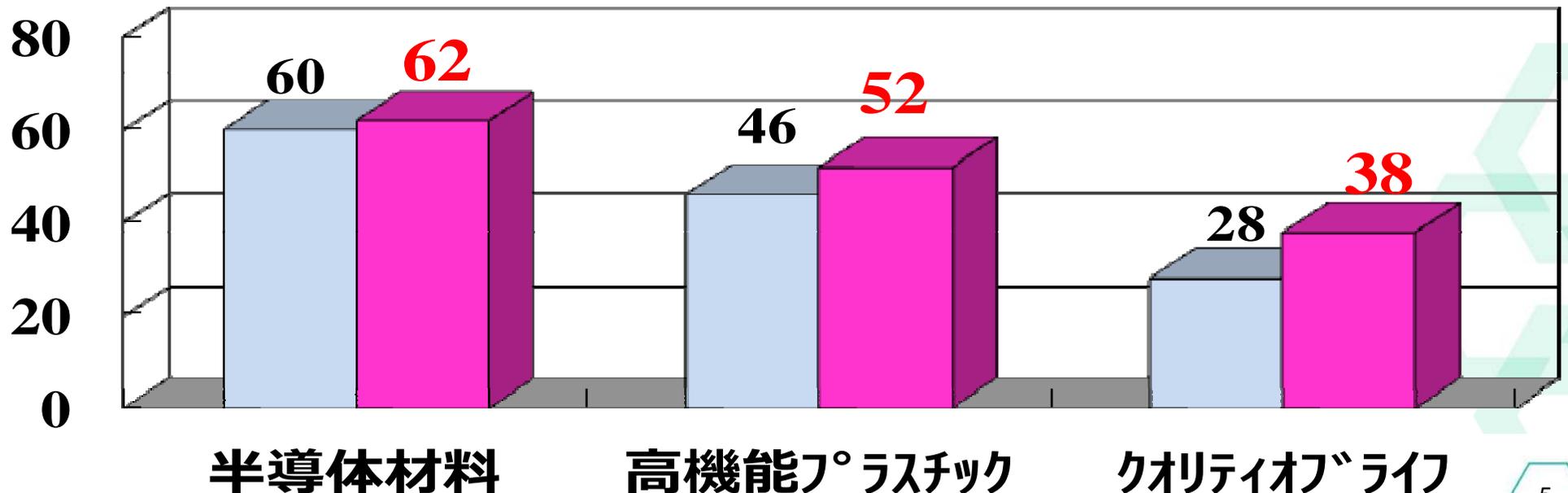
□ 2014年度[2015年3月期]

■ 2015年度[2016年3月期]

【単位：億円】



【営業利益】



※ 退職年金数理計算差異による影響を除く。

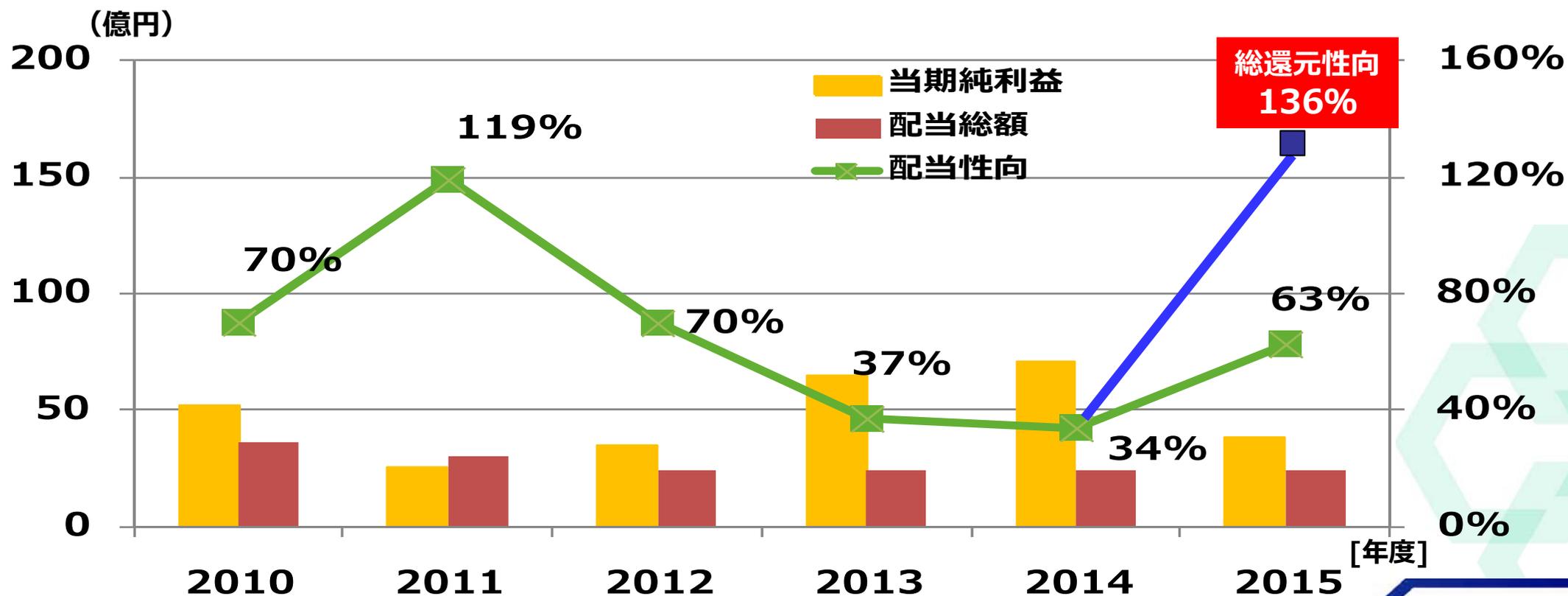
# 株主還元状況

■配当：10円/1株（中間5円・期末5円）

■自己株式取得・消却

▼取得：株数 5,500千株/金額 28億円：'15年11-'16年1月

▼消却：株数15,000千株：'16年4月



# 2016年度[2017年3月期]業績予想

[金額単位：億円]

	2015年度 ['16年3月期] 実績①	2016年度 ['17年3月期] 予想②	比較増減	
			金額 (② - ①)	増減率 (%)
売上高	2,070	2,150	80	3.9%
営業利益	102	150	48	46.5%
退職年金数理計算差異	-20		20	*****
実質の営業利益	122	150	28	23.0%
経常利益	106	155	49	46.2%
退職年金数理計算差異	-20		20	*****
実質の経常利益	125	155	30	23.5%
当期純利益	38	90	52	135.1%
退職年金数理計算差異	-14		14	*****
実質の純利益	52	90	38	73.7%

※ 為替レート： [2015年度 ('16年3月期)] 120円/USD・132円/EUR  
 [2016年度 ('17年3月期)] 110円/USD・125円/EUR

※ 純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

# 新中期経営計画案の概要 (2016-2018年度)

# 当社を取り巻く事業環境



## リスク

- ・新興国の成長鈍化
- ・原油・原料価格の変動
- ・為替の変動

## 市場変化

- ・スマート化の進展  
自動車、住宅、家電…
- ・IoTの拡大

## 社会的課題

- ・高齢化、社会保障費増加
- ・環境規制強化、食の安全安心
- ・ボーダーレス社会の進展  
(交通・通信の発達⇒リスク範囲拡大)

**市場変化、社会的課題を追風と捉え、持続的成長に向け舵を切る！**

# 新中期経営計画 基本方針

## “創生”

プロダクトアウトから「ニーズフル、シーズフッシュ」への転換

“CS最優先”のもと重点顧客深耕(B to B)  
社内外での連携、協業の積極実施

-創生-  
Seeds  
[EX-3]

-重点-  
Needs  
[EX-2]

-基盤-  
[EX-1]

### 《基本戦略》

#### ■ 新製品の早期立上げ、創生

光導波路・有機半導体材料、マイクロカテーテル(能動)等

#### ■ 成長領域の収益力強化、規模拡大

先端半導体、自動車・航空機、医療分野に経営リソース集中

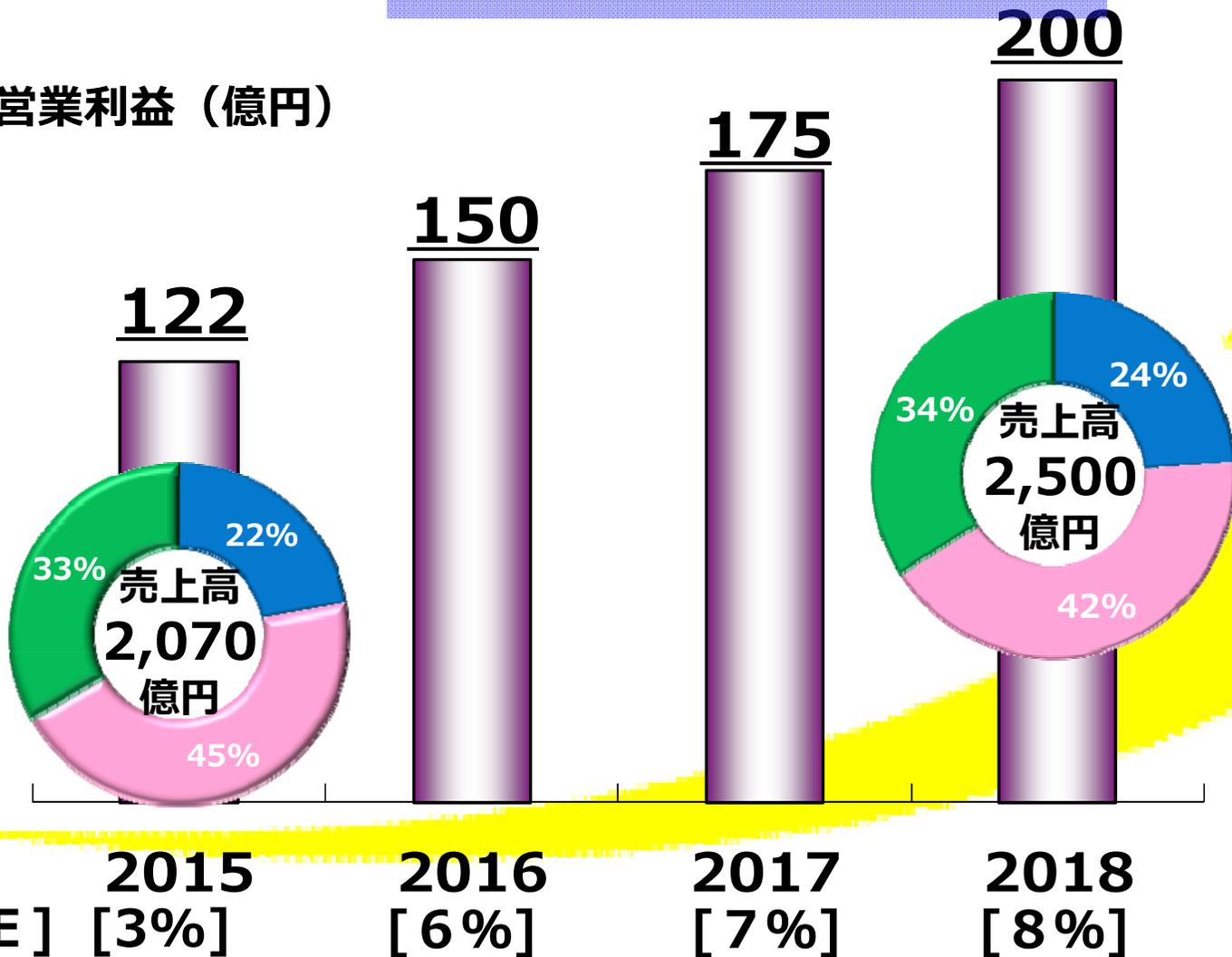
#### ■ 既存事業の再生、事業転換

赤字事業の撲滅：LaZ<sup>®</sup>、成形品事業等の早期黒字化

# 新中期経営計画の数値目標

## 新中期計画案

営業利益 (億円)



## 目指すべき姿



**新中期数値目標(2018年度) : 営業利益200億円、ROE=8%**

# 1.事業戦略（半導体関連材料）

基盤

(EX-1)

重点

(EX-2)

創生

(EX-3)

封止材・CR製品

LaZ<sup>®</sup>

その他

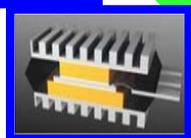
★：重点施策

- ★グローバル拠点の経営資源配分・体制の最適化（中国主体）
- ★半導体パッケージ基板材料「LaZ<sup>®</sup>」の事業領域拡大
- ★成長事業領域への展開（車載・社会インフラ分野）  
スマートコミュニティ市場開発本部(SCM)を核とした社内連携による事業化推進

■ MUF / 真空加圧成形用材料  
3D半導体積層材料

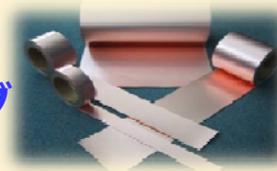
■ パワーデバイス  
/モジュール対応材料

■ 車載・社会インフラ関連



■ 高剛性ソルダーレジスト  
(RCF/RCC)

■ 極薄プリプレグ



■ 光回路製品



■ OLED/LCD  
基板用耐熱材料



既存事業領域の基盤強化、成長事業領域の拡大

# 2.事業戦略（高機能プラスチック）

日本・アジア

欧州・北米

★：重点施策

基盤

(EX-1)

- ★成長事業領域への展開  
航空機事業、金属・樹脂コンポジット化 等
- ★M&A、合併による成長地域への展開
- ★事業の再構築  
⇒成形品事業(中国)/回路事業（日本・マレーシア・マカオ）

重点

(EX-2)

■航空機関連部材



座席周辺  
コンポジット材



窓周辺  
軽量H2カムパネル



■金属・樹脂コンポジット材



樹脂エンジン部品



樹脂ブレーキ部品

創生

(EX-3)

既存事業の収益基盤強化、新成長領域への積極展開

# 3.事業戦略（医療・バイオ）

## 医療機器

## バイオ製品

★：重点施策

### 基盤

(EX-1)

★成長分野（IVR・内視鏡）での品揃え強化、キット化

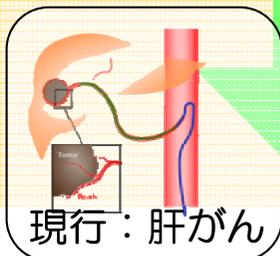
★協業によるコア顧客の創生（創薬・再生医療）

★グローバル事業体制の構築（営業・生産・研究）  
⇒Vaupll社、外部との協業による販路拡大

### 重点

(EX-2)

■マイクロカテーテル（能動）  
（2015年度販売開始）



■糖鎖診断、再生医療、免疫診断、  
遺伝子検査用各種キット



糖鎖精製キット BlotGlyco®



PrimeSurface®



マイクロ流体



SuperQualityシリーズ

適応範囲拡大=品揃え強化・面展開

### 創生

(EX-3)

成長分野での新製品投入、グローバル積極展開

# 4.事業戦略（高機能フィルムシート）

★：重点施策

基盤

(EX-1)

医療包装

- 医薬品包装  
(先発薬・後発薬)



食品包装

- 食品包装
- 鮮度保持フィルム  
“P-プラス”



産業用

- 電子部品包装・工程用
  - ・ダイシングフィルム
  - ・カバーテープ
  - ・リリースフィルム

重点

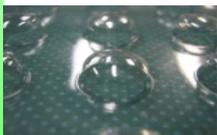
(EX-2)

- ★ 高防湿等品揃え強化
- ★ PTP以外の包材進出

- ★ 環境対応品の品揃え強化
- ★ 国内外への販路拡大

- ★ 機能性フィルムの用途開拓

- 高防湿フィルム  
(超多層)



- 薄型多層フィルム
- 鮮度保持フィルム  
(結露防止・防カビ材)



- 医療用品用包材

- ★ 輸出入資材の採用拡大
- ★ 非農業分野の参入  
(パン、麺類、発酵食品など)

機能性フィルム製品群の探求・拡充

創生

(EX-3)

# 5つの創生領域を目指す研究・開発

## 地球環境

## 快適生活

## 健康社会

取り組むべき課題

低燃費・軽量

高精細

低消費電力

安全・安心

高速・大容量通信環境

治療負担軽減

5つの創生領域

航空機内装材料

車両関連材料

高精細表示体材料

高集積デバイス材料

ヘルスケア材料

基本テクノロジー

物質創製

新たな機能を発現する

革新プロセス

究極のものづくりを目指す

評価解析技術

構造と機能の関連を  
解き明かす

社内外連携による技術開発

5つの創生領域で研究・開発を推進し、  
社会およびお客様のうれしさを具体的な形に！